米海兵隊岩国航空基地司令官
環境保護所信表明

私は効果的かつ効率的な環境方針により任務遂行準備を維持促進する立場に堅く立っている。海兵隊岩国航空基地は組織的な環境管理システムを通じて環境パフォーマンスを引き続き推進していく。従って環境に対する意識は日々の運営の意思決定と長期計画の過程において不可欠であるべきである。

すべてのテナント部隊および本部各部隊は、各自が環境に対する優良な責任者となっているかを確実にするために海兵隊環境方針、日本環境管理基準(JEGS)および当基地の指令書に従うべきである。

公害の防止は発生源の削減、資源の回復・再利用により確立される。海兵隊岩国航空基地は、われわれの手に委ねられているこれら天然資源・文化財資源の保護に焦点を当て、これを節約・保存していく。

我々の任務遂行が環境へ及ぼす影響を軽減し、実行コストを削減すべくその継続を主導する。細心の注意を払うことで、日本の隣人の皆様と我々との間にある良好な関係をさらに高め、将来の任務継続に良い影響を与える信頼形成を築く。

我々は目標を設定し、それら目標達成に向けて進行状況を測定し、環境パフォーマンスの継続的改善のために積極的に機会を求めていくものとする。それを達成することにより、軍人そして民間従業員それぞれの行動が環境に与える影響について各自が認識出来る必要がある。これは全員の務めである！

軍人及び民間従業員に、環境に配慮しながらそれぞれの行動に責任を持つことを命じる。個人は自身の行動に、そして上司は部下の行動に責任を持つ。

R. F. ファースト